

「絆」を深めることができた1年となりました

県社会教育委員連絡協議会 会長 森山 喜代香

先日、宮崎市では桜の開花が発表され、春本番を感じさせる陽気となりました。

さて、今年度の本協議会は「第42回九州ブロック社会教育研究大会宮崎大会」一色ではありましたが、私自身も、会員の皆様の力添えをいただき、大変有意義で貴重な経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

また、本大会の企画・運営を通して、社会教育委員の皆様と顔の見えるお付き合いをさせていただき、絆の深まり

を確信しております。この気運の高まりを来年度以降ももち続け、県内の社会教育委員が一丸となって、より活発な活動ができるようにしていきたいと思っております。

なお、今年度の理事（宮崎・片野坂副会長、北部・長谷川副会長、南那珂・中島理事、児湯・井之上理事、北諸県・坂元理事、北諸県・西理事）の皆さんには、九州大会実行委員も兼務していただきました。大変お疲れ様でした。



各地区研修報告

北部

「地域の特色を活かした社会教育活動～記紀編纂1300年で活気づく地より～」



会長 長谷川 義明

北部地区は、東臼杵及び西臼杵7市町村の社会教育委員で構成され、本年度の会員は65名です。

各市町村の代表で構成される理事会を年2回実施し、協議会の運営方法や研修会の内容等を協議・決定しています。また、各市町村の取組状況につ



いて情報交換する場ともなっています。第1回理事会

本協議会では年間2回研修会を実施していますが、ここでは、1月に高千穂町で開催した第2回研修会の概要を紹介します。

会場は、メディアにもよく取り上げられている岩戸地区五ヶ村の「神楽の館」でした。諸塚村と高千穂町から、地域の特色を活かした社会教育活動の発表、そして、「神楽の館」の運営グループの代表である工藤正任氏から、地域の活性化にかける思いを聴かせていただきました。



第2回研修会

午後は地元社会教育指導員の田尻氏の案内で、史跡や神楽面の工房を見学しました。記紀編纂1300年で活気づく高千穂の地での充実した研修をとおして、研鑽を深めることができました。

北諸

「地域を変える高齢者パワー～高齢社会に焦点を当てた公民館活動～」



会長 坂元 和雄

北諸県地区の取り組みとして、昨年10月に都城市中央公民館にて開催した「平成24年度都城市自治公民館地域振興大会兼都北地区公民館ブロック別セミナー」について報告します。

この大会は、様々な課題の中から高齢社会に焦点を当て、地域での実践活動を通して、今後の社会教育活動等の一層の充実・発展を図ることを目的に開催し、地区内の自治公民館長、社会教育委員、行政職員等、約300名が参加しました。

=大会の概要=
実践発表

①五十市地区南鷹尾西自治公民館長

長友 喜信 氏

「これからの高齢社会に対する自治公民館の役割」

～『見守り連絡員制度』の発足について～



実践発表①



実践発表②

②高崎地区笛水地区公民館長

春村 光行 氏

「地域を変える笛水地区公民館の高齢者パワー」

西諸県

「一人一人の住民のよさを見抜き生かす町づくり」



副会長 木場 茂

西諸県地区では、平成 24 年 12 月 7 日に高原町総合保健福祉センターほほえみ館にて開催した「平成 24 年度西諸県地区社会教育委員連絡協議会第 3 回研修会兼西諸県地区公民館ブロック別セミナー」について報告します。

この大会は、社会教育委員及び公民館関係者が一堂に会し(72 名参加)社会教育委員の実践発表や豊かな地域づくりに関する講演を通して、地域課題の解決に関する活動の在り方についての理解を深め、リーダーとしての資質の向上を図ることを目的に開催しました。

実践発表では、**えびの市社会教育委員の緒方俊郎氏**



実践発表

が「地域の絆づくりの一助として」と題し、「食」を通して生徒、PTA、地域住民と一体となった活動の展開等が報告され、参加者にとって大変参考になるものでした。

また、「笑って元気～市民が主役～」と題して、**おおい**た観光特使の**矢野大和氏**を講師にお招きし、講演(口演)が開催されました。



講演(口演)

笑い笑いのお話の中に、「地域の中で自分たちがどのように生活していくのか」、「町づくりは一人一人の住民のよさを見抜き生かすこと」など数多くのヒントをいただきました。

今後も、西諸県地区社会教育委員連絡協議会では研究主題である「生涯学習の視点を生かした地域の絆づくりのための社会教育委員の活動はどうあればよいか」に沿って、地域における実践活動を推進していきたいと思ひます。

今後も、西諸県地区社会教育委員連

児湯

「軽トラ市をとおした人づくり～様々な仕掛けをとおして～」



会 長 井上 源之助

西都・児湯地区では、3月1日に西都・児湯地区社会教育委員連絡協議会研修を川南町生涯学習センター1階会議室で行いました。

研修では、**川南町商工会会長の宮崎吉敏氏**から「かわみなみ軽トラ市の取組について」と題して、講演をしていただきました。

軽トラ市は、今でこそ次回の出店者がキャンセル待ちをしているくらい多くの出店がありますが、最初の頃は台数も少なく歩行者天国にする商店街の道が空いていたり、商店街からは自分の利益にならない事への反発があったりと苦勞もされたようです。しかし、回を重ねるごとに台数も増え、人を呼び込めることで、商店街の方もそれを商いに活かすところも出てきたということです。

出店された方が、ゴミ一つなくきれいに片づけをされて、「また、来るわ」と声をかけて帰られることに元気づけられることや、「町づくりは人づくり」をモットーに、この軽トラ市をとおして人づくりを行いたいと話されていまし

た。

今後も、来場者へのポイント制や医商連携など様々な仕掛けをとおして商店街の活性化を図りたいと意気込みを語られていました。

また、**県教育庁生涯学習課の向江修一社会教育主事**より県生涯学習課の事業説明をしていただきました。第二次宮崎県教育振興基本計画に基づく「学校・家庭・地域や企業・市民団体が一体となって取り組む教育の推進」と「家庭や地域の教育力の向上」など説明をしていただきました。

社会教育委員からの質疑もあり、スポーツ少年団などスポーツ振興についても社会教育委員会議の提言に盛り込むなど、一体化で取り組んでほしい旨の要望が出されました。

今回の研修を生かし、更に社会教育委員の役割を果たしていきたいと思ひます。

(研修会終了後、屋根付多目的運動場の視察を行いました。)



屋根付多目的運動



記紀編さん1300年

宮崎は、古事記や日本書紀に描かれた日本発祥にまつわる日向神話の舞台であり、多くの伝説や伝統文化、史跡等が残されています。

平成 24 年は古事記編さん 1300 年、また、平成 32 年は日本書紀編さん 1300 年という大きな歴史的節目に当たります。宮崎県では、平成 24 年から平成 32 年までの 9 年間で「記紀編さん 1300 年記念事業」の期間と定め、「神話のふるさとみやざき温故知新ものがたり」をコンセプトとした多彩な事業を展開中です。

交差する歴史と神話
みやざき発掘100年





本年度、南那珂地区社会教育委員連絡協議会では、社会教育委員としての資質向上をねらいとして、講師を招聘して2回の研修会と視察研修、計3回の研修を行いました。

第1回研修会では、石井秀信氏（都城市社会教育指導員、南九州大学講師）を講師に迎え、社会教育を取り巻く現状を基に、これからの社会教育について講話をしていただき、本当の人間社会を未来につなぐ大切さを学びました。



第2回研修会①

第2回研修会では、宮田浩二氏（串間市教育委員会生

涯学習課旧吉松家住宅館長兼文化係長）を講師に迎え、串間市の地勢や歴史的な特徴を分かりやすく解説していただくとともに、未だ解明されていない“串間の歴史ロマン”である「玉璧」

や「刀銭」について、レプリカや実物を用いながら興味深い話を聞くことができました。

視察研修では、熊本県山鹿市社会教育課を訪ね、社会教育の組織づくりの先進

的な取組について、説明を聞いたり情報交換をしたりして、社会教育の方向性や在り方を直接学ぶことができ、社会教育委員としてよい刺激となりました。

これらの研修を通して、社会教育の現状と課題、社会教育の役割、社会教育委員の資質向上などについて、新たな学びとなる機会を得たところです。これらの学びを地域社会に還元し、生涯学習社会が目指す「知の循環型社会」を実現したいと考えています。



第2回研修会②

全国社会教育研究大会三重大会

「すごいやんか！きりり輝く人・まちづくりin三重」

10月24日（木）～25日（金）伊勢市、志摩市

- ・社会教育実践視察研修（伊勢ガイド付き）
- ・社会教育実践交流広場（発信ブースでの交流）
- ・シンポジウム「人が輝き、協創する社会教育の推進」
- ・全6分科会



宮崎地区社会教育委員連絡協議会では、地域のつながりはもちろんのこと、「地域づくり（人づくり）をどう進めていくか」、「地域における信頼関係をどう構築していくか」などについて、年間に2回の研修会を実施しました。

第1回研修会は、宮崎市神話・観光ガイドボランティア協議会会長の岡田勝運氏をお招きして、「日向神話から学ぶもの」と題して講演をしていただきました。神話は地域独特の伝承に広がり、決して荒唐無稽な作り物でないことに気付くとともに、神話を語ることによって、人が今ここに生きていることを保障し、限りない未来を約束していることに感銘を受けました。

第2回研修会は、「安全・安心な地域づくり」をテーマに、木花地域婦人会婦人会副会長の茜ケ久保眞由美氏に

講演をしていただきました。講演を通して、常に集落のこと、住民のことを把握し、対応策を必要に応じて変更していく、この取組こそがコミュニティ創造



第2回研修会



第2回研修会プレゼン資料

の原点とも言えることを再確認しました。

2回の研修会を通して、社会教育委員としての自覚を高めるとともに、お互いの情報交換もでき、「地域づくりについて」話し合いを深めることができました。

ご案内

今回宮崎で開催した大会が、今年は長崎市で行われます。

九州ブロック社会教育研究大会長崎大会

「ふるさとを想い、地域の人々をつなぐ社会教育をめざして」

11月14日（木）～15日（金）長崎市

・記念講演「人選中」

・全4分科会

①「子どもを育てる」

②「人をつなぐ」

③「支えあう地域をつくる」

④「社会教育委員の役割・活動を考える」

宮崎県は、第1分科会の事例発表と助言者を担当します。

平成 25 年度の活動計画（予定）

第 2 回理事会(1/30)の承認事項に、日時や場所など現時点での計画を加えています。

宮崎県社会教育委員研究大会

(宮崎県公民館経営セミナーと合同開催)

1月29日(水)10時～

県総合文化公園(メディキット県民文化センター 他)

「読書活動を通じた家庭や地域、学校でのコミュニケーションづくり(計画中)」

第1回理事会

5月15日(水)14時～16時 県庁内会議室
役員改選、協議(総会議題審議 他)

第2回理事会

2月19日(水)14時～16時 県庁内会議室
今年度のみと、次年度の計画について

総会・研修会

8月7日(水)13時～16時30分 県立図書館

内容

(1)総会

役員承認、平成24年度事業実績報告、
決算報告並びに監査報告
平成25年度事業計画案、収支予算案

(2)研修会

講演または発表

会計監査

3月25日(火)15時～16時 県庁内会議室

地区別研修 各地区の計画により実施

会報の発行 年3回(10月、1月、3月)

全国社会教育委員連合表彰

12月12日(木)14時30分～ 県庁講堂

県からのお知らせ



多くの方の推薦をお待ちしております。

表彰

文科省や県教委、全社教連では、多年にわたり、社会教育の振興に貢献のあった方の顕彰をたたえ表彰しています。

社会教育功労者文部科学大臣表彰(10年以上)

県社会教育功労者及び優良団体・施設表彰(個人10年、団体5年以上)

全国社会教育委員連合表彰(7年以上)

12/13 県庁講堂での表彰式



提言

県社会教育委員会議では、平成23・24年度の2か年間で、4つの提言をまとめ、教育委員会に提出しました。

「コミュニティ社会の再構築～地域の課題解決を図るためのシステムづくり～」

提言1 多様な主体による横の連携

提言2 地域教育のプラットフォームづくり

提言3 人材の地育地活

「家庭の教育力の向上に向けた新たな方策づくり」

提言4 親の学びと家族の絆づくり

2/5 県教育長室
での手交



<編集後記> この一年間本当にお世話になりました。特に九州大会では、皆様にいろいろ無理なことをお願いしましたが、快く引き受けていただき感謝しております。年初は、各地区の研修会にお邪魔しながら一緒に勉強させていただいたり、いろいろな社会教育委員の取組を紹介したりしようと思っていたのですが、結局、地区の研修会には1回、会報は2回しか出すことができませんでした。ただ、九州大会は大変ではありましたが、この大会があったらからこそ、多くの方と知り合え、私にとって大きな財産となりました。5年後に、また宮崎大会が回ってきます。その時には本県の社会教育がさらに発展しておりますことを心より願っております。(向江)

発行責任者 宮崎県社会教育委員連絡協議会事務局(担当:向江)

TEL:0985-26-7245 FAX:0985-26-7342 e-mail:mukae-shuichi@pref.miyazaki.lg.jp

ホームページ: http://www.sun.pref.miyazaki.lg.jp/committee_index.html

